

姉妹町村

美浦村のホット情報

ふるさとの史跡をたずねて…

文化財めぐりを実施

三月一日、村民三十五名が参加し、バスによる文化財めぐりを実施しました。  
今回は、美浦村の対岸霞ヶ浦町を訪れ、郷土資料館や富士見塚古墳、銚子塚古墳などを見学しました。

その名がつけられ、現在は公園として整備されています。参加したみなさんは、古墳に登ったり、展示品を熱心にながめたりと楽しいひとときを過ごしました。

阿賀野川舟下り

参加者募集

資料館では、特別展「霞ヶ浦の絵馬」にちなんで絵馬についての話を学芸員の方からうかがったり、珍しい石の絵馬も見ることができました。富士見塚古墳は全長七十八メートル、茨城県内屈指の大規模な前方後円墳で、円墳二基を従えています。丘上から富士山が望めるところから



銚子塚古墳の前で

建設省阿賀野川工事事務所などの主催により、多くの方々から舟に乗って水上から阿賀野川を見てもらうと、横雲橋周辺(横越)ー阿賀野川緑地公園周辺(新潟市本所)を区間として、舟下りを実施します。所要時間は一時間三十分程度です。参加費は無料です。

▼参加対象 どなたも参加できますが、小学生未満の方は保護者同伴。定員は全体で四五〇名、一回につき五十名。申込多数の場合は抽選します。  
▼実施日時 五月二十七日(水)

耳よきな情報

～広域情報ネットワーク～

〈新潟市〉 春期特別展「湧き水の生き物」

下越地方を流れる胎内川が形成する扇状地内には、伏流水が湧き出す地帯が点在し、それを水源とする生態系が存在しています。今回の特別展では、ここで見られる水生生物について展示します。

▶期日 ～5月31日(日)  
▶会場 マリンピア日本海マリンピアホール  
▶問い合わせ マリンピア日本海 ☎222-7500

〈白根市〉 白根大凧合戦

中ノ口川(川幅約80m)の両岸から東軍(白根)と西軍(味方)に分かれて24畳の大凧を揚げ、空中で絡ませ川に落とし、相手の凧網が切れるまで観衆も加わって引き合う勇壮な大凧合戦です。

▶期日 6月4日(木)～8日(月)  
▶会場 中ノ口川堤防(凧見橋～白根橋間)  
▶問い合わせ 白根市商工観光課 ☎373-2111

青年海外協力隊 平成十年度春募集説明会

青年海外協力隊は、自分の技術や経験を生かして、アジア、アフリカなどの国造りに協力するボランティアです。現在五十カ国約二、四〇〇名が活躍中です。

▼募集説明会 五月二十日(水) 会場は新潟ユニオンプラザ、午後六時三十分～八時三十分  
▼資格 二十歳以上三十九歳までの日本国籍を持つ心身ともに健康な男女  
▼募集期間 協力隊所定の願書を協力隊事務局に、五月三十一日(日)までに郵送。

ふる里物語

町史編さんだより ④3

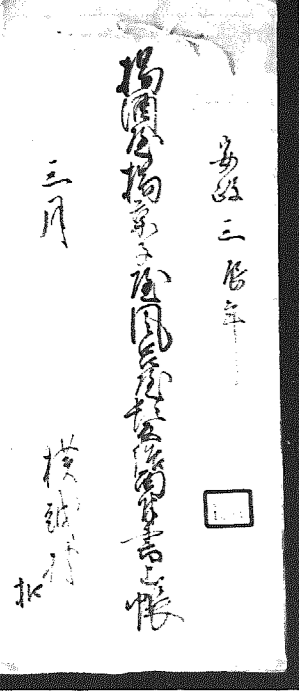
近世(江戸時代)後期の横越村の様相

十八世紀中頃の打ち続く凶作により、農村では貧富の差が大きくなり、富める農民は地主化の方向をたどる一方で、土地を手放して没落する農民が多く現れました。

民たちは、地主の土地を小作したり、農閑余業や出稼などを行って生計を維持しました。ここでは横越村(今の大字横越)を例にとり、農閑余業を見つみましよう。

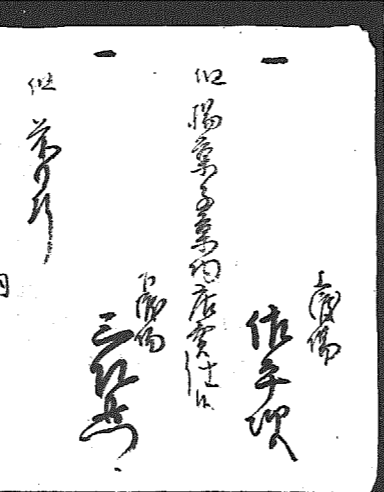
旗本小浜氏領沢海村の伊藤文吉家は、十八世紀中頃から土地を集積し始め、十九世紀の前半には旗本小浜氏の御用達(御用商人)になりました。また、新発田藩領横越村の本間太兵衛家は、新発田藩への献金の功労から、天保三年(一八三二)に庄屋の格式と孫代までの苗字帯刀を許されました。

天保十三年の「売物御改帳」(横越町所蔵)によると、当時農業のかたわら小商いに従事した者は三十八軒ありました。中には専門化していたと思われる「菓子屋」とか「からかさや」など、商人のような屋号をもつ家もありました。各家が商っていた売物は似かよったものが多く、次のような食料品、日用品雑貨がほとんどでした。



安政3年(1856)「揚屋屋菓子屋風呂屋髪結面付書上帳」の表紙(大字横越の中の店舗を書き上げている)

「揚屋屋菓子屋風呂屋髪結面付書上帳」(横越町所蔵)によれば、渡し場の付近を中心に駄菓子屋を兼ねた揚屋屋が十八軒、駄菓子屋が二十



大字横越の上渡場や下渡場には「揚屋菓子屋(くだもの店)」が何軒も立ち並んでいた。(前掲安政3年の書上帳より)

四軒、髪結九軒、風呂屋四軒があったとあります。江戸時代の横越村は村ではありましたが、十九世紀の後半には、一部店屋の建つ町場の様相が現れていたことが分かります。(近世部会 松永克男)

3月資源ごみ収集実績

空きびん	7.9 t
空き缶	5.0 t
古紙	26.5 t
合計	39.4 t

5月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	12日(火) 26日(火)
その他の地区	7日(木) 28日(木)

俳句

句題 春疾風・花衣・野焼

花衣脱ぐ間も牛が餌ねだる  
花衣女は夢をすてきれず  
ときめきもありし余生や花衣  
飛び火してあらぬ方へと野火猛る  
花衣心ときめく出会いあり  
春疾風帽正し行く郵便夫  
着る事も無く逝きし娘や花衣  
対岸もけがらせてある野火日和  
花衣脱ぎつつ人出の話しなど  
春疾風直立不動の兵の墓

高橋 鴉子  
小林 千恵子  
村木 千恵子  
村木 千恵子  
笠原 茶山  
草野 青踏子  
市村 横雲子  
小林 千恵子  
小林 千恵子